

年 組 () 名前

サイン

二酸化炭素削減へ

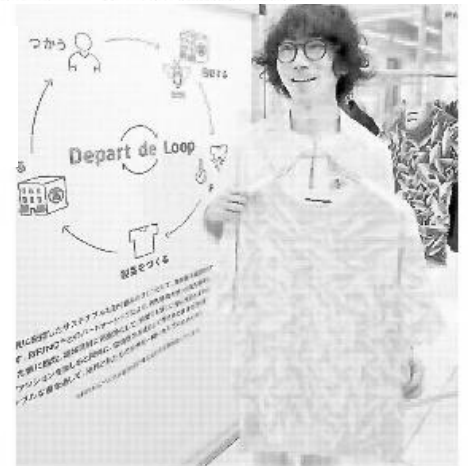
まだ着ることのできる衣服が廃棄される「ファッショロス（衣服ロス）」が、新たな環境問題になっていきます。製造から廃棄までの過程で、大量の二酸化炭素(CO2)を排出するためです。小売りやアパレルメーカーは廃棄を減らそうと、使い終わった衣料品の回収や再生に取り組んでいます。

環境省の調査によると、2020年に国内で新たに供給された衣服は81万トンでした。一方、家庭から手放された衣服は75万トン、事業所から手放されたのは3万トンと推計されています。

家庭から手放された衣服のうち、ごみとして出されたのは49万トンで、全体の約7割を占めたのに対し、店頭や地域で回収されたのは8万トン(11%)、資源として回収されたのは5万トン(7%)にとどまりました。埋め立てられたり焼却されたりする衣服は、1日あたりトラック130台分に上りました。

国内で供給される衣服に関連して、排出されるCO2は年間9500万トンで、「中小国の1国分の排出量に相当する」(同省)といわれています。

服 捨てずにリサイクル



高島屋新宿店で販売されている循環型の洋服

◆まだ着ることのできる衣服が廃棄される「ファッショロス」が、新たな環境問題になっています。

百貨店大手の高島屋は、回収した古着から取り出した化学繊維のポリエステルを使った婦人服や子ども服など約60種類の販売を始めました。東京・新宿店の特設売り場には、旬のクワイターがデザインしたTシャツが並んでいます。担当バイヤーの橋本介さんは「リサイクルを身近なものとして楽しんでほしい」と話し、村田善郎社長も「商品を通じて、幅広く循環型社会の必要性を

【1】衣服の廃棄がなぜ、環境問題になるのか、理由を書きましょう。

考えるきっかけになれば」と期待しています。アパレル大手の三陽商会は、海洋ごみのペットボトルなどを原料とするスニーカーを販売しています。ユニクロを展開するファーストリテイリングも、国内店舗でダウンジャケットを回収し、羽毛を取り出して再生した商品を販売しています。回収やポリエステル再生にコストがかかりますが、大半は通常の商品とそれほど変わらない価格で販売されています。対策としては、▽服を厳選する「リデュース」▽修繕などで長持ちさせる「リペア」▽古着などの「リユース」▽資源物として回収する「リサイクル」が効果的とされています。環境省は、衣服の大量消費が環境に与える影響を周知する一方、適量生産・適量消費への転換を促していく方針です。

(2021年6月9日 読売新聞朝刊より)

【2】高島屋と三陽商会、ファーストリテイリングの取り組みと、それらが4つの対策のどれに当たるか書きましょう。

Table with 2 columns: 取り組み (Initiative) and 対策 (Countermeasure). Rows include 高島屋 (Toko Iwaya), 三陽商会 (San'yō Shōkai), and ファーストリテイリング (Fast Retailing).

【発展問題】4つの対策のうち、あなたが取り組みそうなものについて、どのように生活の中で実行できるか、裏に書きましょう。